

Japan Digital Engineering Technologies and Ecosystems (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

CPS (Cyber physical System) 時代に向け産業分野への取り組みを強化する IT ベンダーや通信事業者が増えています。そこで重要になるのが、5G、エッジコンピューティング、AI 映像解析、AR/VR、ロボティクス、デジタルツインなどのデジタルエンジニアリング関連技術と、これらの新しい技術を用いて顧客の課題を解決するソリューションやサービスです。デジタルエンジニアリングは、従来のプロダクトエンジニアリングや OT (Operational Technology) を補完する形で産業分野に普及していくと考えられます。IDC Japan 年間情報サービス「Japan Digital Engineering Technologies and Ecosystems (Japanese Version)」は、IT ベンダーや通信事業者による産業分野向けのデジタルエンジニアリング関連の技術とサービスの市場を分析するとともに、主要分野の市場予測を提供します。なお、本情報提供サービスは、2023 年までは 5G 市場を分析の対象としておりましたが、2024 年からデジタルエンジニアリングへと対象範囲を拡大いたします。

Markets and Subjects Analyzed

- 産業分野向け 5G
- エッジ IT
- ロボット/ドローン/モビリティ統合運用管理
- デジタルツイン
- デジタルエンジニアリングサービス
- 高精細映像伝送およびエッジ AI 映像解析

Core Research

- 国内産業向け 5G 市場規模予測
- 国内エッジ IT 市場規模予測
- 国内デジタルエンジニアリング企業ユーザー調査
- 国内 IT ベンダーのデジタルエンジニアリングサービス動向
- 国内デジタルツインソリューション動向
- 国内高精細映像伝送およびエッジ AI 映像解析市場動向

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Digital Engineering Technologies and Ecosystems \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

- 産業分野向け 5G とエッジ IT の市場規模予測は？
- 産業分野への参入において重要となる戦略とは？
- 競合他社は CPS やデジタルツインにどのように取り組んでいるか？
- 産業分野の企業とのパートナーシップをどう構築すべきか？
- ロボットなどの統合運用管理市場でどう戦うべきか？

Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います (アルファベット順、50 音順)。

KDDI、NEC、NSSOL、NTT コミュニケーションズ、NTT ドコモ、NTT データ、NTT 東日本、NTT 西日本、TIS、アマゾン、エヌビディア、エリクソン、オプテージ、京セラ、グーグル、サムスン、シスコ

システムズ、ソフトバンク、東芝、ネットワンシステムズ、ノキア、パナソニック、日立システムズ、日立製作所、富士通、マイクロソフト、三菱電機、楽天、その他